

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	103	未利用資源活用畜産オガコ生産モデル事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア		
	担当部課名				事業実施(予定)年度	3Rの推進	
農林水産部 畜産課			平成 24 ~ 29 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)		
事業内容	畜産環境改善に優れる「オガコ」の安定供給、低コスト化、定品質等の課題を解決するため、堆肥センター等と連携した生産・利用モデルの作成に向けた調査、検討研究などの取組みを実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】			25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	0	0	11,820
		(b) 予算現額	0	-	0	0	11,820
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計 (b+d)	0	-	0	0	11,820
	B. 執行済額		0	-	0	0	10,982
	うち交付金充当額		0	-	0	0	8,786
	C. 次年度繰越額		0	-	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		-	-	-	-	92.9%
予算の状況の説明		・旅費および需用費残のため、執行率が95%を下回った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	畜産で活用しやすい剪定枝オガコの粒度、水分、粉碎方法、などの定義について試験研究機関で検討する	目標	-	-	-	剪定枝オガコの定義について検討	
		実績	-	-	-	剪定枝オガコの定義について検討	
	剪定枝の活用で懸念される有毒植物混入予防に係る有毒植物生育状況地図の作成に向けた調査を実施する	目標	-	-	-	有毒植物生育状況地図の作成に向けた調査の実施	
		実績	-	-	-	有毒植物生育状況地図の作成に向けた調査の実施	
達成状況説明	・研究機関(畜産研究センター)において畜産で活用しやすい剪定枝オガコの粒度、水分について研究を実施した。 ・沖縄本島の有毒植物(キョウチクトウ、ミフクラギ、ソテツ、センダン)の生育状況を調査した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(27年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(29年度)
	剪定枝等未利用資源を活用した畜産向けオガコ生産モデル作出に向けてのデータ収集等	目標				粒径、水分のデータ収集及び有毒植物生育状況地図の作成	-
		実績				粒径、水分のデータ取得及び有毒植物生育状況地図の作成	-
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	・研究機関(畜産研究センター)において剪定枝オガコの定義について検討し、粒径1.0~4.75mm、水分30%以下の条件で吸水性が良く使いやすいという結果が得られ、データを収集できたことから成果目標は達成されている。 ・畜産向けオガコ生産モデル作出に向けて、剪定枝に有毒植物が混入することが懸念されるため、有毒植物(キョウチクトウ、ミフクラギ、ソテツ、センダン)の生育状況を調査し、データの収集を行った。この調査をもとに、沖縄本島の有毒植物生育状況地図を作成したことから成果目標は達成されている。					

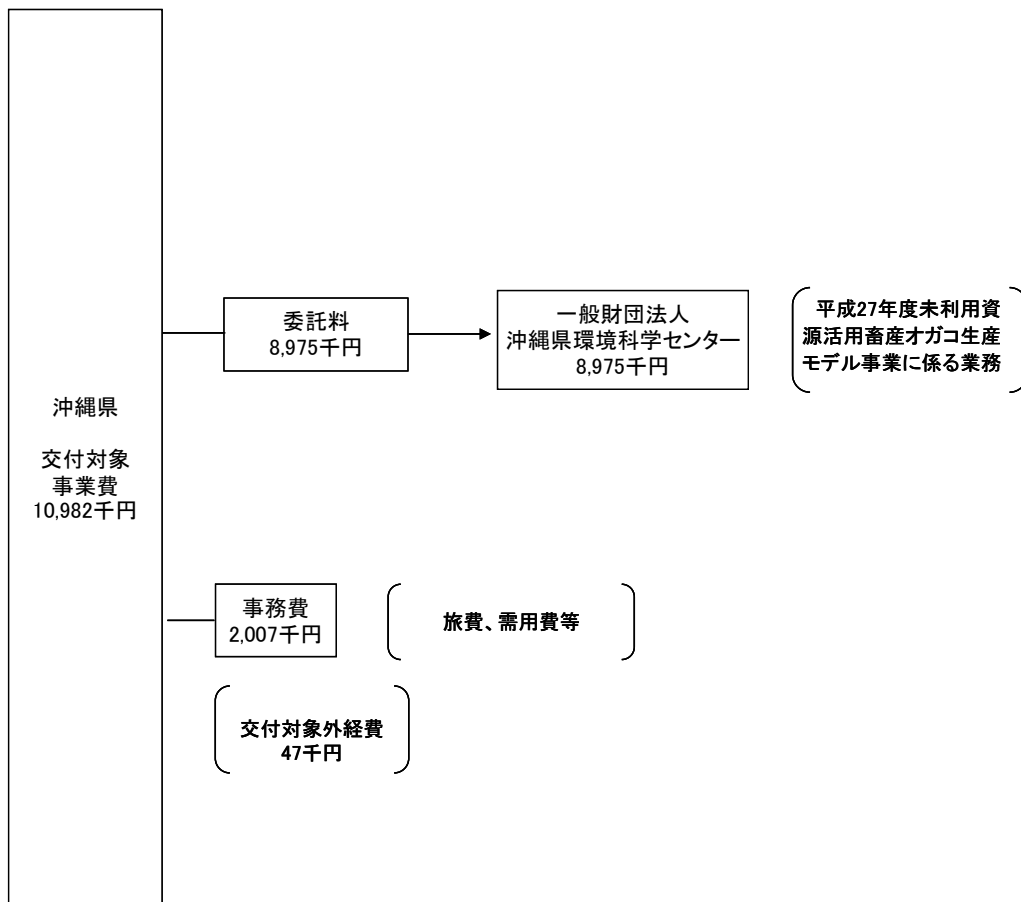
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動実績は、目標どおり剪定枝オガコの定義について検討し、有毒植物生育状況地図の作成に向けた調査を実施したことから、「達成」と評価する。</li> <li>・成果実績は、畜産向けオガコ生産モデル作出に向けたデータ収集を行い、剪定枝オガコの定義として粒径1.0~4.75mm、水分30%以下という結果を得たことや、有毒植物の生育状況を調査し地図を作成したことから、「達成」と評価する。</li> <li>・事業推進の課題として、畜産向け剪定枝オガコ生産モデルの作出に向けて、搬入剪定枝に有毒植物が紛れ込まない分別体制を整える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬入剪定枝に有毒植物が紛れ込まない分別体制を整えるため、混入防止ルールの検討を行う必要がある。</li> <li>・生産された剪定枝オガコに有毒植物が混入した場合に備えて、混入の有無に係る検査手法の確立とオガコ生産現場での検査技術の適用を検討する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

平成28年度は、畜産向け剪定枝オガコ生産モデルの作出に向けて有毒植物の混入防止に向けたルールの検討を行う。また、有毒植物混入の有無に係る検査手法の確立とオガコ生産現場での検査技術の適用を検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
11,029	10,982	8,786	2,196	0	0	47



資金の流れ、費用点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先業者は、業務の内容および特殊性等から公募型プロポーザル方式により選定しており妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	